

## 2年生「高志学」ガイダンス講演会 を実施しました

令和3年4月20日（火）に、（株）農園たや代表の田谷徹先生をお招きし、校外講師による授業、2年生「高志学」ガイダンス講演会を実施しました。2年生では「福井の風土（くらし）」を学びます。そこで、福井で農業を営みながら国際貢献にも長年携わっていらっしゃる田谷さんに「農業、ときどき地域作り、たまに国際交流」という演題でお話いただきました。

田谷先生には、最初に福井を取り巻く労働環境や外国人技能実習生の現状について教えていただきました。その上で「そこに住む地元の人（＝『土』）が、そこへ外部からやってくる様々な人（＝『風』）を受け止めることで、その土地に変化が起こって、初めて風土が作られる。土である地元の人には、良く地元を知っているようで、長年住み慣れた地元を固定的に見るので、新しい発想は余り生まれません。反面その地域の常識にとらわれないよそ者は、全く新しい視点でその地域を見るので、奇抜な発想が生まれることがある。地元の間人がそれを活かし、風と土の関係がうまく調和してはじめて、その地域の風土となる。お互いが学ぶ姿勢を作ろう。」とお話してくださいました。

また今後外国の労働力を一方的に期待するだけでなく、相手にとっても日本が魅力的な学ぶ場所になっていくことが大切で、そのためには相手の生活環境や文化をよく知り、帰国後のビジネスプランなどにも寄り添うような関係やシステムを構築することが重要だともお話してくださいました。

生徒からは「高齢化が高まる中、いかに働く人を増やすかという事はとても大切なので、外国人が働きやすく日本人が自信を持って呼び込みやすいWIN+WINな社会・関係を築いていきたい。」「私は2年生でフィールドワーク力などを鍛え、自分の町のことを再発見し、日本を学び場にしようと思います。」などの感想が聞こえました。

